



《なげる、あてる、ひろがる》スイッチ
© Switch 協力:名古屋造形大学 情報表現領域



《SplashDisplay》的場やすし / 山野真吾 / 徳井太郎
© yasushi MATOBA / shingo YAMANO / taro TOKUI

光と遊ぶミュージアム

魔法の美術館

「見て、触れて、遊ぶ」体感型アート展



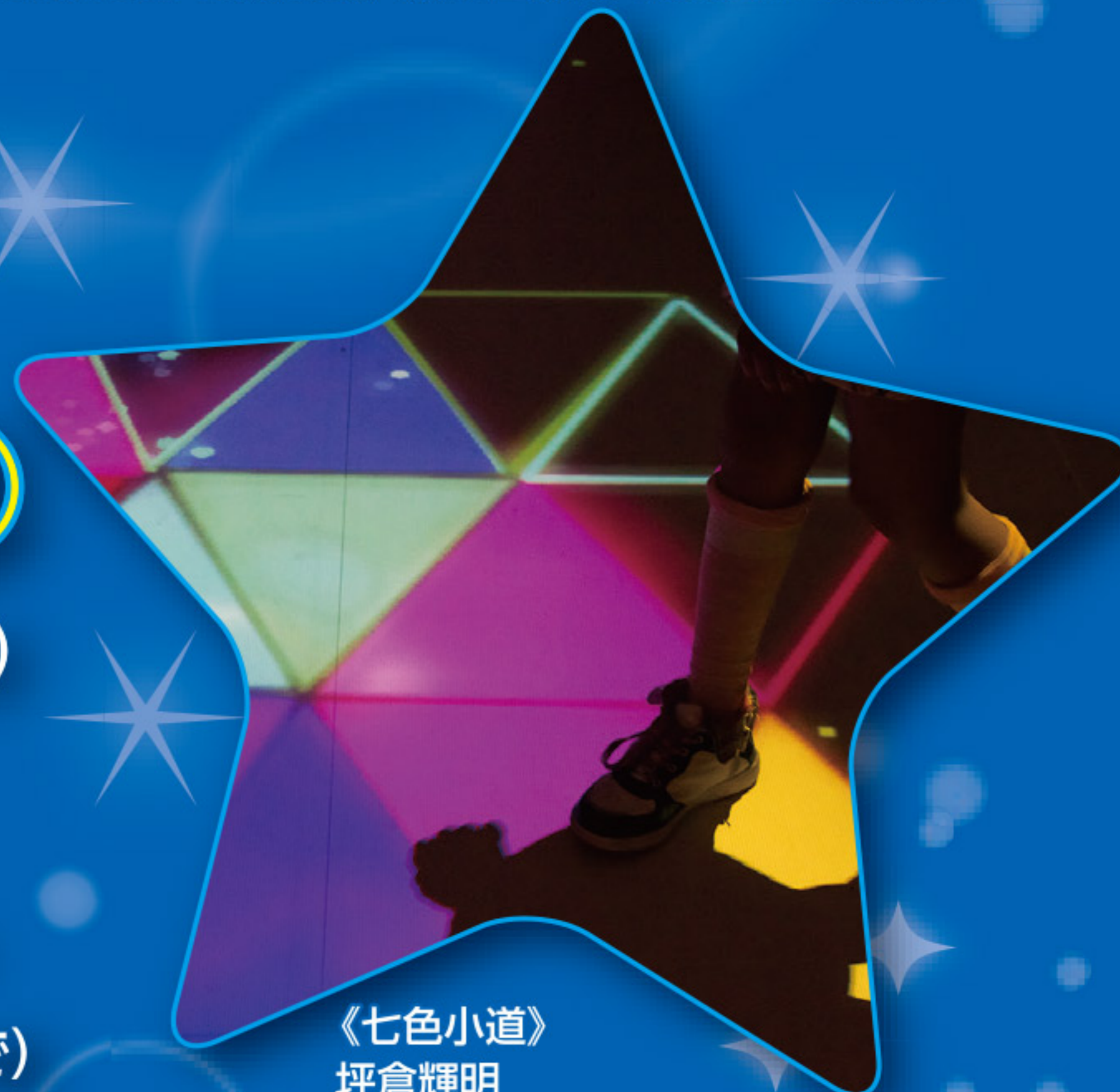
《ユビサキに咲く》Ponboks (本多大和)
© Ponboks (yamato HONDA)



《Immersive Shadow: Bubbles》藤本直明 © naoaki FUJIMOTO



《アスタリス》
岡田憲一+冷水久仁江 (LENS)
© kenichi OKADA+kunie HIYAMIZU (LENS)



《七色小道》
坪倉輝明
© teruaki TSUBOKURA

2024

3/16^土 ~ 5/5^日

[休館日] 月曜日(4月29日は開館)、3月21日(木)、4月30日(火)

会場

宮崎県立美術館

宮崎市船塚3-210

[開館時間] 10:00~18:00 (展示室入場は17:30まで)

[特別協賛]

都道府県民共済グループ
県民共済

[協賛]

SUZUKI

株式会社スズキ自販宮崎

[主催] 宮崎日日新聞社

MRT宮崎放送

[企画協力] ステップ・イースト

光と遊ぶミュージアム

魔法の美術館

会場に一步足を踏み入ると、そこは不思議な光とアートの世界…。作品は、あなたの動きに反応して光と影が様々な表情を変え、まるで魔法使いになったかのような体験ができます。子どもから大人まで世代を超えて誰もが楽しめる作品の数々です。「見て、触れて、遊ぶ」新しい形の体感型アート展をぜひお楽しみください!



SUPER SLIT-SCAN

渡邊敬之(北千住デザイン)

© takayuki WATANABE (Kitasenju Design)

自分の姿が作品の中に入り込むと、時空がゆがんだように不思議な変化を見ることができます。魔法のような体験を楽しんでください。



展覧会の絵

坪倉輝明

作品の前に立つと、あなたが絵画の中の人物となって自由に動くことができます。

© teruaki TSUBOKURA



衝突と散乱

藤本直明

床に散らばった無数のカラフルな破片が、歩き回る人の動きに合わせて弾けます。

© naoaki FUJIMOTO



よるにおもう

重田佑介+Zennyuan

© yusuke SHIGETA+Zennyuan

白い本を手に持って歩き回ると、その本に様々な星座のキャラクターが登場するアニメーションが映し出されます。夜空の世界を旅するように空間の中を歩いてみてください。



toatope

本多大和 / 下田芳彦

テーブルにかざした手の影から生まれた「影」のイキモノが、まるで命を吹き込まれた生き物のように動き回ります。

© yamato HONDA / yoshihiko SHIMODA



ミルアンサンブル

Ponboks(本多大和)

壁に手をかざすと楽器が映し出され、音が鳴り始めます。そばにいる人と一緒に不思議な合奏も楽しめます。

© Ponboks (yamato HONDA)



アスタリス

岡田憲一+冷水久仁江 (LENS)

ゆっくりと回転するオブジェから、空間一面に虹色の光が映し出されます。

© kenichi OKADA+kunie HIYAMIZU (LENS)

写真・動画撮影OK(フラッシュ不可)



詳しくは宮崎日日新聞特設ページで

観覧料(税込)
一般：1200円(前売り1000円)、4歳～高校生：500円(前売り400円)
親子ペア(一般1名+4歳～高校生1名)：1300円(前売りのみ) ※同時にご入場ください。
3歳以下無料 小学生以下の方は、保護者同伴でご入場ください。
身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳・ミライロID提示者は本人のみ無料

[前売り券お取り扱い] 2024年2月1日(木)～3月15日(金)まで
宮日会館1階受付、宮崎日日新聞県内各販売所、宮崎山形屋、コープみやざき県内各店、宮交シティ、セブンチケット(セブンコード:103-981)、ローソンチケット(Lコード:83636)、チケットぴあ(Pコード:686-796)、イープラスほか

[後援] 宮崎県教育委員会、宮崎県市町村教育委員会連合会、宮崎県観光協会、(公財)宮崎県芸術文化協会、宮崎県PTA連合会、宮崎県保育連盟連合会、宮崎県幼稚園連合会

[お問い合わせ] 宮崎日日新聞社事業部 TEL0985-26-9303(平日9～12時、13～17時)



[会場] 宮崎県立美術館
宮崎市船塚3-210

・できるだけ公共交通機関をご利用ください。